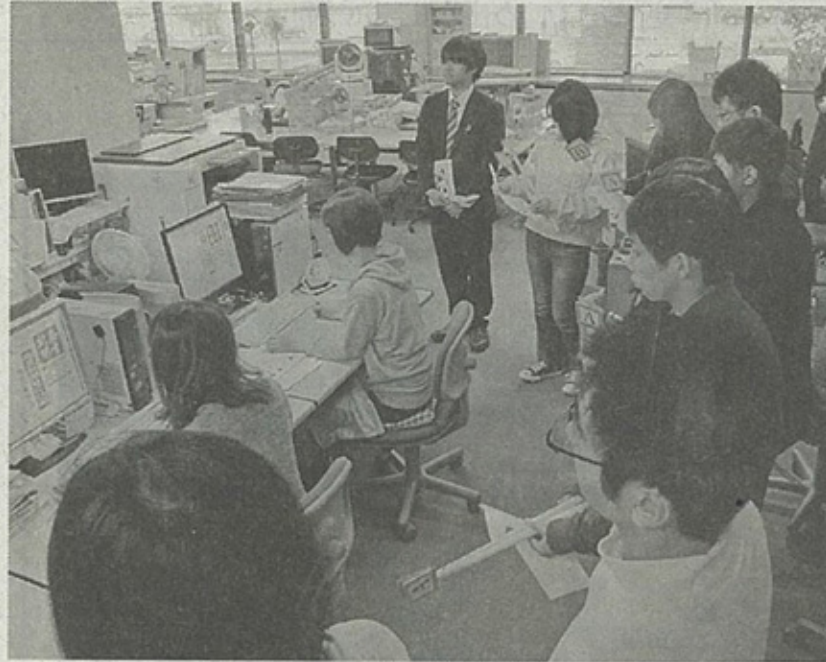


第一学院高奈良の生徒 奈良新聞社を見学

地方紙の役割学ぶ

読みやすいレイアウトについて学ぶ生徒＝19日、奈良市
法華寺町の奈良新聞社



広域通信制の第一学
院高校奈良キャンパス
（奈良市）の1、2年
生8人が19日、奈良新
聞社を訪れ、新聞づく
りを学んだ。

本社編集部の増山和樹部長代理が新聞製作の流れや、地元のニュースを最優先に紙面を展開する奈良新聞の報道姿勢などを解説。

「正確であること、人権に配慮することはもちろん、ささやかな出来事も含め地元の歴史を記録していくのも地方紙の大きな役割」と話した。

続いて、新聞のレイアウトや見出しを担当する編集部整理課を見学。同課の奥田有紀さん、阪口優子さんが読みやすく、きれいな紙面づくりのルールを実務で使用するパソコン画面や、クイズなどで楽しく解説した。

見学後、1年生の北岡侑也さん（16）は「奈良のことを中心に読みやすい紙面をつくるため、こんなにも気を配っていることを初めて知った。すごいと思った」と話した。